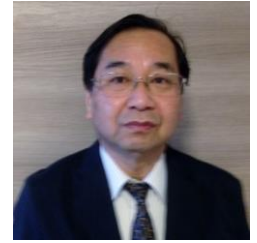


研究タイトル：機械設計法カリキュラム・教材開発 並びに課題解決等の業務支援

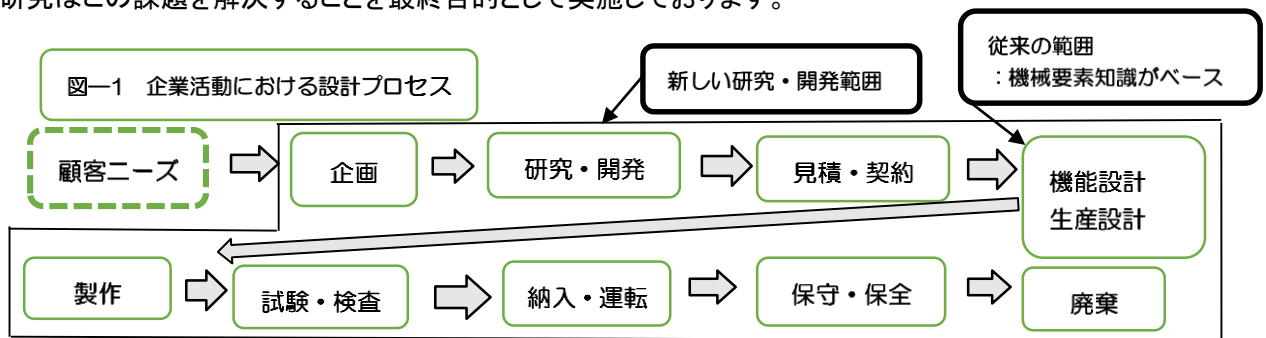


氏名：	大西 祥作 / ONISHI SHOSAKU	E-mail：	s.onishi@akashi.ac.jp
職名：	嘱託教授	学位：	工学修士(技術士、PE)
所属学会・協会：	日本機械学会、日本原子力学会、日本技術士会、日本設備管理学会		
キーワード：	機械設計法、設備保全、設備診断、保守、原子力、課題解決		
技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・機械設計法カリキュラム・教材について ・課題解決等業務支援 		

研究内容：

① 実践的且つ創造的機械設計法カリキュラム及び教材の開発

高専・大学の機械系教育は主として機械要素の設計手法について実施されておりますが、これからの超スマート社会の実現のためには、製品プロセス全体をカバーした教育(広義の機械設計法)が必要です。しかし広義の機械設計法を教育する為のカリキュラムやそれを踏まえた教材(教科書等)が現状出来ていない状況です。本研究はこの課題を解決することを最終目的として実施しております。



② 課題解決等に係る業務支援

35年間原子力プラントメーカーにおいて主に①装置&設備の計画から現地試験対応、②プロジェクト管理に係る業務を経験しており、企画・見積から保守・保全までのあらゆる事柄に関する実務的な課題解決について支援が出来ます。また、技術士として「総合技術監理部門」の資格を有しており機械及び原子力関連の技術的課題のみならず、プロジェクトマネジメントの観点からもアドバイスが可能です。主な技術的支援可能内容を以下に記載します。なお、以下に記載がない場合にもまずは遠慮なくご相談ください。

- 1) 設備や装置に係る不具合調査、対策立案に係る相談
不具合を解決する手法であるFTA(故障の木解析)やなぜなぜ分析等のアプローチ法の仕方を支援可能
- 2) 設備や装置に係る企画・見積・契約に係る相談
大きなものから小さなものまで各段階(企画、見積、受注・契約)における注意事項について支援可能
- 3) プロジェクト業務(期限のある非定形業務)に係る相談
5つの観点を踏まえた全体最適を目指すプロジェクト管理の考え方を具体化する方法を支援可能
- 4) 技術士やPE(professional engineer)(アメリカの技術士)の資格取得に係る相談
技術士やPEの資格取得の要件や勉強方法について指南可能

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	
現状特筆すべき設備・機器はなし	